

# 兵庫県におけるオサムシの分布(1)<sup>1)</sup>

高橋 寿郎

筆者はかつて同じ表題で兵庫県下におけるオサムシの分布状況を詳しく報告したことがある(兵庫生物 Vol.7, No.5:247, 1979, Vol.8, No.1:37-39, 1980, Vol.8, No.2:110-112, 1981). その後, 筆者自身も県下のオサムシの分布調査を継続したし, 兵庫県下でのオサムシの分布記録(特に但馬地方)も多く発表されている. そこで, 現時点での兵庫県におけるオサムシの分布状況をここに再度まとめた。

何分浅学未熟者故多くの誤り, 脱落等あるやに思われる. 大方諸賢の御指導, 御教示を頂くことができればこれに過ぎることはない。

Family Carabidae

オサムシ科

Subfamily Carabinae

オサムシ亜科

## 1. *Apotomopterus porrecticollis kansaiensis* (Nakane, 1961) ホソアオクロナガオサムシ(図・1, 2)

本種は県下では分布が限定されているように思われると前報で述べたが, その後淡路島からの記録も見られるし, 瀬戸内海に面した海岸線近くに

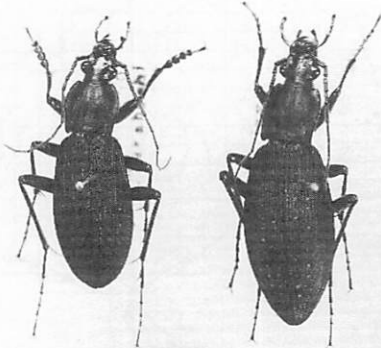


図 1.

*Apotomopterus porrecticollis kansaiensis* (Nakane, 1961)

ホソアオクロナガオサムシ

左 ♂ 体長26mm 右 ♀ 体長31mm

佐用郡大撫山産 11. III. 1977 採.

は記録がほとんど見られないが, 佐用郡大撫山には極めて多くを産し, この地域から北の方に及んでは割合広く産するようで, 但馬地方では最も普通種になるとか(永幡, 混虫ずかん, No.43, p.5, 1994). 県の中・北部を中心に分布は広く産するようである。

産地. 津名郡北淡町常隆寺[大草, 1993]<sup>3)</sup>. 川辺郡猪名川町杉生新田~能勢町天王南方 alt.490~500m, 猪名川町上阿古谷三草山(東稜線)~神山 alt.400~330m. 大原山~柏原 alt.450m. 大野山~

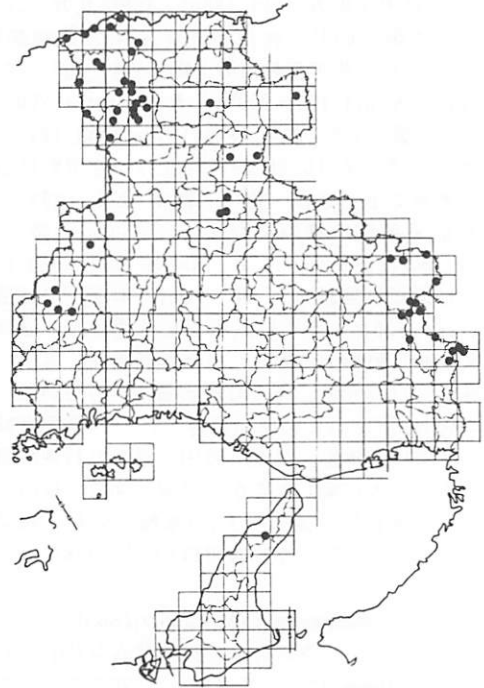


図 2. ホソアオクロナガオサムシの分布

1) 兵庫県甲虫相資料・347

2) 番号は便宜的につけた。

3) [ ]は文献からの記録. 文献名は筆者著 県産甲虫に関する文献目録(1975, 1981, 1984, 1995)参照.

1998. 富永 修, mt-DNA分析用に得た中国地方のオサムシの記録. すかしば(46):13-17. 並びに大貝秀雄, 赤相地区を中心とした播磨地方のオサムシ分布資料. てんとうむし(12):65-66, 1998の記録も収録してある。

一本松 alt.650~700m[近畿,1979]. 川西市上之町(北東)上杉池(西)~妙見山 alt.370~520m[近畿,1979], 黒川,横地,笹部[仲田,1978,1982], ときわ台(1♂,28.II.1979)<sup>4)</sup>. 宝塚市香合新田[大平,1992]. 多紀郡城東町四十九 alt.420m. 上箆坊 alt.420m, 箆坊 alt.400m, 多紀町相坂岐 alt.310~330m, 天引峠(西方) alt.320m. 篠山町小金ヶ嶽・三嶽間の峠 alt.520m[近畿,1979], 西紀町畑[小宮,1970, 岸田,辻,1975], 雨石山[林ほか,1995]. 豊岡市高屋金山稻荷神社 alt.80m[近畿,1979]. 城崎郡日高町国分寺 alt.80m,60m. 竹野町雨入, 香住町三川山麓, 香住町御崎[永幡,1994]. 出石郡但東町(赤花)[高橋,1982]. 朝来郡和田山町奥水坂~白井 alt.230m. 朝来町山内(東方) alt.150m. 新井(北方) alt.180m. 立野(北方) alt.170m[近畿,1979], 和田山町東谷(和田山南側)[富永,1998]. 佐用郡佐用町大願寺 alt.160~220m, 西徳久 alt.180~200m, 大撫山 alt.200~400m[近畿,1979, 富永,春沢,1973, 嵯峨,1986], 大撫山(4♂,5♀,15.III.1975,etc.), 佐用町日名倉山奥海岨下, 延吉~豊福, 新田[富永,1998]. 宍粟郡千種町千草~岩野辺 alt.380m[近畿,1979], 赤西(2♂,2♀,12.IV.1981, S.Ogura leg.). 美方郡浜坂町居組 alt.40~60m. 浜坂下夕林道 alt.80~120m. 浜坂町久米駅前八幡神社, 温泉町蒲生峠~船坂上の神社. 村岡町春來峠, 南下, 丸味上 alt.380m. 美方町鍛冶屋. 美方村熱田~氷の山(峠下) alt.950m[近畿,1979]. 浜坂町城山, 観音山, 本谷, 温泉町竹田, 湯谷, 村岡町相岡, 和田, 本谷実, 大ぬか, 村岡, 神坂, 萩山, 板仕野, 兎和野, 美方町大谷[永幡,1994], 扇ノ山[辻,岸田,1972]. 赤穂市谷口[大貝,1998].

2. *Calosoma maximowiczii* (Morawitz,1863)

クロカタビロオサムシ(図・3,4)

本種は, Bates によって Hiogo に産するとした古い記録がある(1873). 当時の Hiogo は現在の神戸市内のことであって筆者も神戸市内で採集しているが, 極めて稀のようである. 淡路島からは最近記録がある. 古くから川西市笹部付近には多産することが知られていたが, 開発で様子の変化が

あり, 現在どのような状況なのかわからない. 揖保郡には古い記録がある(1906). 相生市三濃山, 佐用郡大撫山などでは採集出来ている. 養父郡での記録もあるが, 県下全般での記録はあまり無い. 本種の幼虫は鱗翅類の幼虫を捕食することがよく



図3. *Calosoma maximowiczii* (Morawitz,1863)

クロカタビロオサムシ

♂, 体長: 30mm. 佐用郡大撫山産 13. III. 1976

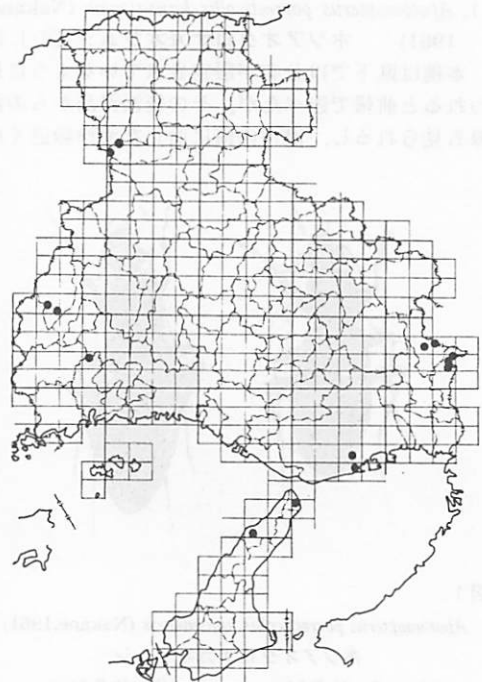


図4. クロカタビロオサムシの分布

4) ( )は筆者採集標本. 原則として標本は県立人と自然の博物館保管, 採集例の多いものは1例のみ掲げて他はetc.として省略する.

知られているが、後翅が発達しているため燈火に飛来することも知られている。筆者の採集は何処とも道路上を歩いているものを採集している。

産地。津名郡淡路町茶間川, 北淡町生田大坪[大草,1993, 登日,1997]。川辺郡猪名川町三草山[近畿,1979]。木間生[仲田,1978]。川西市笹部, 大和, 横地[仲田,1971,1978,1982, 近畿,1979]。兵庫[神戸][Bates,1873]。神戸市鳥原(1♂,12.V.1980)。揖保郡[大上,1906]。相生市三濃山(1♂,18.V.1974)。佐用郡佐用町大撫山 alt.250~400m[富永,春沢,1973, 近畿,1979]。大撫山(1♀,13.III.1976)。大願寺 alt.160~220m[近畿,1979]。養父郡関宮町鉢伏高原[日浦,1971, 高橋,1982]。氷の山越[永幡,1994]。

### 3. *Campalita chinense* (Kirby,1818)

エゾカタピロオサムシ(図・5, 6)

本種は兵庫県下では分布も広く、特に海岸線に近い地域にはわりと多く分布しているようである。

永幡によると調査のポイントとしては、まず河川の下流に架かる橋の水銀灯が挙げられている。三木市では日中は欄干の隙間に潜み、夜になると出てくるのが観察されていると報じている(1994)。

電灯に飛来したものを採集した報告が多い。筆者の採集も全部電灯に飛来したものである。クロカタピロオサムシと同じように後翅が発達しているからである。

産地。三原郡西淡町[登日,1979]。三原町八木養宜[藤富,1995]。洲本市中河原町[堀田,1978]。宇原[登

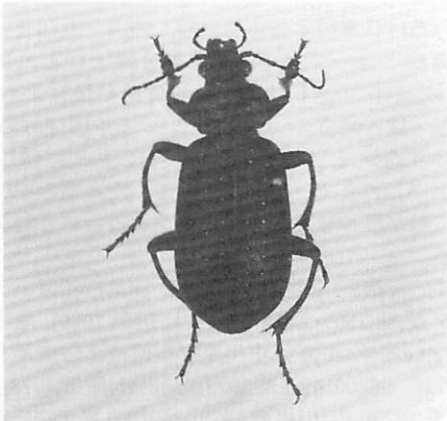


図5. *Campalita chinense* (Kirby,1818)

エゾカタピロオサムシ

神戸市多井畑 1♂, 19.VII.1990.

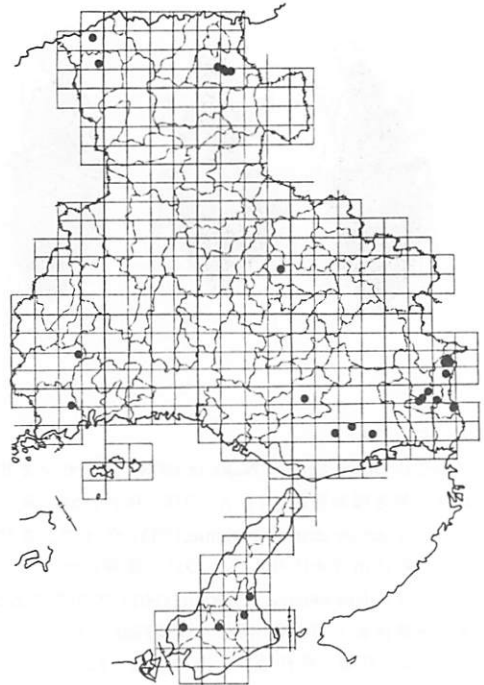


図6. エゾカタピロオサムシの分布

日,1979]。山武牧場(相川)[登日,1980]。川西市見野, 大和[仲田,1970,1978,1982]。新田井之向286 alt.50m, 山下[近畿,1979]。伊丹市荒牧[河上,1984]。伊丹市天津・猪名川河川敷[富永,1998]。宝塚市[小島,1976]。武庫町, 南口2丁目[新家,1988]。武庫川町, 売布が丘[大平,1992]。南口2丁目(1♀,2.VI.1989, Niinomi leg.)。神戸市摩耶山(1♀,21.VII.1955)।山の街[近畿,1979]。藍那(1♂,28.VII.1993)।多井畑(1♂,19.VII.1992)।三木市[永幡,1994]。赤穂郡上郡町金出地, 赤穂市高雄[大貝,1998]。氷上郡山南町若林(1♀, VIII.1972, K.Kuramoto leg., 1♂, VIII.1972, K.Fujiwara leg.)。豊岡市鞆団地, 上陰, 立野[高橋,1975,1982]。豊岡駅[近畿,1979]。美方郡浜坂町戸田, 温泉町湯中山[永幡,1994]。

### 4. *Carabus daisen daisen* (Nakane,1953)

ダイセンオサムシ(図・7, 8)

中根猛彦博士により"Daisen, Tottori"産でヒメオサムシの亜種として記載されたものである。

*Apotomopteris japonicus daisen* Nakane, Rep. Sai-kyo Univ., (Nat. Sci. & Lib. Sci.), 1(2):48,1953.

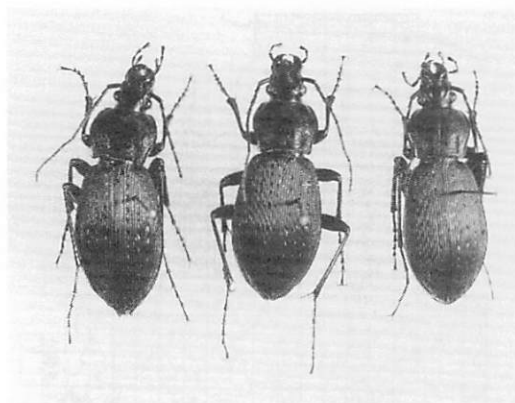


図7. 左より

1. *Carabus daisen daisen* (Nakane,1953) ダイセンオサムシ 美方郡浜坂産 17. X. 1978 体長24mm. ♀
  2. *Carabus daisen daisen* (Nakane,1953) ダイセンオサムシ 松江市枕木山産 7. VI. 1986 体長24mm. ♀
  3. *Carabus daisen okianus* (Nakane,1961) オキオサムシ 隠岐島島後都万 21. VII. 1982 体長23mm. ♀
- 2, 3は淀江賢一郎氏採集 Hachitani Photo.

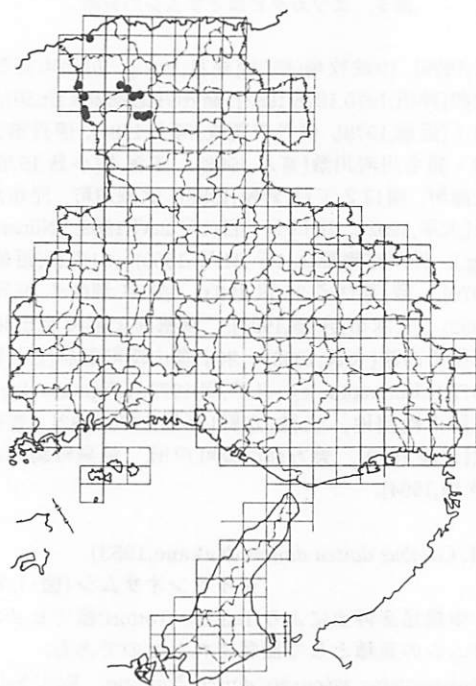


図8. ダイセンオサムシの分布

兵庫県からの初めての記録は日浦 勇らによる近畿オサムシ研究グループによる"近畿地方のオサムシ"(大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第11集,1979)においてであると思われる。その後、筆者は浜坂町の宇都野神社の裏手で掘った1♀を採集した。最近、永幡嘉之は美方郡扇ノ山山麓地帯で多くの産地を報告されている(1996,IRATSUME, No.20)。現在の兵庫県下では美方郡に知られているだけである。

産地. 美方郡浜坂町宇都野神社(1♀,17.X.1978). 温泉町春來峠の池畔[近畿,1979], 村岡町春來峠～丸味 alt.370m[近畿,1979, 高橋,1982], 村岡町和田 alt.220m[近畿,1979, 高橋,1982]. 蒲生峠 alt.340m, 海上 alt.400m, 岸田花口 alt.360m, 岸田霧ヶ滝入り口 alt.420m, 岸田菅原 alt.500m, 岸田肥前畑 alt.580m, 扇ノ山畑ヶ平(高原上) alt.980m, 扇ノ山上山高原 alt.920m, 扇ノ山小ツッコ alt.1,000～1,100m, 小ツッコ(小ツッコ小屋付近) alt.1,080m, 小ツッコ(雨滝からの登山道との合流点) alt.1,100m, 小ツッコ(大石からの登山道との合流点) alt.1,160m[永幡,1994].

#### 5. *Carabus dehaanii* Chaudoir,1848

オオオサムシ(図・9, 10)

本種はヤコンオサムシとともに兵庫県下全域に広く分布しており、個体数の多い少ないの違いはあってもまず満遍なく産する種の一つであろうと考えられる。越冬に際しては、頭部を外方に向けている。

分布は日本の本州中部以西、四国、九州及び周辺島嶼となっている。井村有希博士によれば(1996)、ミトコンドリアDNAの解析結果によれば、中部・関西地方の"オオオサムシ"と中国地方の"オオオサムシ"とはそれぞれ全く別の系統に属し、形態上にこれまで一種と見られていた本種の中に複数の種が混じっている可能性があるという説明がある。

産地. 淡路島[玉井,佐藤,1966]. 洲本市柏原山～竹原ダム alt.250～269m[桂,1971, 近畿,1979], 崎山南側 alt.420～440m, 中川原町市原淡路岳横尾トンネル南 alt.200m[近畿,1979], 安乎町[堀田,1978], 納[川瀬,1979], 内田[川瀬,1979], 先山[近畿,1979, 久松,1973, 桂,1971], 先山(1♂,22.VII.1976,Hotta leg. 2♂ 2♀,9.III.1978). 洲本市安坂～先山, 先山～無線中継塔, 先山, 千光寺, 千光寺～下内膳, 上内膳分

岐[富永,1998]. 三原郡鮎屋[久松,1973], 緑町広田周辺[川瀬,1979], 諭鶴羽山[堀田,1978, 桂,1971, 川瀬,1979], 同山山頂南側 alt.570~600m[近畿,1979]. 川辺郡猪名川町杉生新田(東方)~高岳北稜線 alt.500m, 杉生新田~能勢町天王(南方) alt.490~500m, 上肝川 alt.180m[近畿,1979]. 川西市上之町北東上杉池~妙見山 alt.370~520m. 満願寺~最寺竜 alt.150m, 舎羅林山[近畿,1979], 横地, 芋生[仲田,1978,1982], ときわ台(3♀,28.III.1979). 笹部~初谷川 alt.150m. 笹部[近畿,1979, 仲田,1978]. 宝塚市鳥脇山尾根~鳥脇 alt.350~400m, 鳥脇ダム~十万社 alt.310m, 最明寺滝北 alt.150~180m, 夫婦峠~中山寺奥ノ院 alt.150~180m, 砂山権現~横尾寺 alt.430~500m. 夫婦岩~中山 alt.250~300m,390~400m, 420~450m[近畿,1979], 中山寺奥ノ院alt.300~350m, 立合新田東 alt.250m, 十万辻~立合新田alt.330m[近畿,1979], 岩倉山(1♂2♀,9.III.1979). 西宮市北部有馬地区, 六甲山地[日浦,瀬戸,宮武,1972], 鷲林寺町~観音堂 alt.260~330m, 鷲林寺~旭滝 alt.350~400m,旭滝~観音山 alt.400~450m,450~530m, 観音堂~旭滝 alt.350~450m, 鷲林寺, 同道路~バス停, 観音山 alt.350~400m, 400~500m, 畑山 alt.300~380m,450~500m, 船坂谷, 山口町下田三ヶ平口 alt.320m. 東久保~畑山下半 alt.300~380m, 畑山稜線 alt.500~550m, 同~玉が辻 alt.450~524m, 山口丸山南麓 alt.290m, 山口町船坂バス停横 alt.400m[近畿,1979], 盤滝(1♂1♀,28.V.1987,etc.), 船坂(1♀,1.VI.1989). 芦屋市奥山北東芦有道路東脇 alt.510m,520m, 六甲山東お多福山雨ヶ峠~本庄橋 alt.600m[近畿,1979]. 神戸市[中根,1952], 東灘区荒神山西面 alt.450m[近畿,1979], 六甲山(1ex.,27.VII.1939), 一王山(1ex.,15.I.1938,etc.),盤滝(2♀,10.VI.1987), 灘区箕面町4丁目~摩耶ケーブル摩耶駅 alt.150~240m,240~300m,300~500m[近畿,1979], 六甲山系油コブシ高羽道[富永,1998]. 摩耶山 alt.150m[近畿,1979](1ex.,3.VI.1938,etc.), 保久良山(1♂,1.V.1975,etc.), 葦合区稲良坂~世継山alt.400m[近畿,1979], 再度山(1ex.,30.V.1938,etc.), 市ヶ原(1♂,6.V.1979), 鳥原(1♂,16.V.1979,etc.). 菊水山南麓 alt.280m, 鈴蘭台駅南 alt.300~350m, 高尾山南東 alt.350m[近畿,1979], 下谷上(1♀,16.X.1979), 谷上(1♀,25.V.1986,etc.), 箕谷(7♂9♀,4.XI.1991), 山の街西方 alt.350~400m, 山の街[近畿,1979]. 山の街(3♂3♀,23.III.1975,etc.), 星和台(1♀,9.XI.1979), 西鈴蘭台(5♂

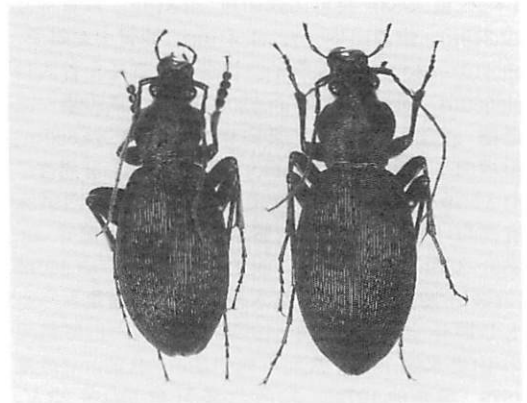


図9. *Carabus dehaanii dehaanii* Chaudoir,1848  
オオオサムシ

左♂,右♀. 神戸市北区岩谷峠 20.XI.1981

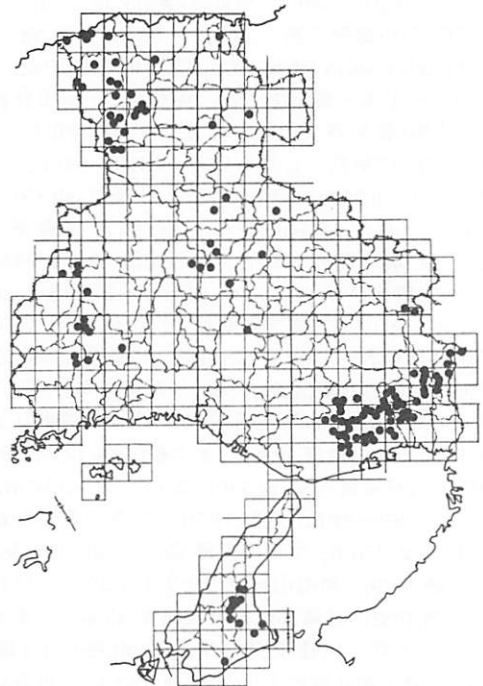


図10. オオオサムシの分布

6♀,20.X.1981), 鈴蘭台大山公園(1♀,16.IV.1987). 藍那(4♂7♀,14.XI.1975,etc.), 丹生山~坂本 alt.350~510m, 稚児ヶ墓山南西斜面 alt.300~500m, 同~岩谷峠 alt.410m[近畿,1975]. 長待山(1♀,7.V.1982), 岩谷峠(9♂7♀,20.IX.1981), 芦谷溪谷(1♂



1♀, 25.III.1983), 投町山西山腹 alt.310m, 妙賀神社 alt.340m, 鍋蓋山牛ノ背 alt.410m, 妙賀山北斜面 alt.410~430m, シュラインロード~ヨモシ谷入口 alt.560m, 同~猪鼻橋 alt.530~560m, 東山橋~上唐櫃 alt.370~390m, 天狗塚~袖谷峠 alt.660m, 射塚山~有馬 alt.600~450m[近畿,1979], 有馬(1♂, 31.XI.1975), 有馬口~逢山峽(1♂, 4♀, 24.XI.1978), 有馬町下唐櫃, 多聞寺[富永他,1973], 多聞寺 alt.350~400m[近畿,1979], 大池古々山峠西 alt.350m[近畿,1979], 古々山峠[富永他,1973], 下唐櫃おしゃもじ観音 alt.320~340m[近畿,1979], 山田町餓鬼の喰[富永他,1973], 淡河町南中池町 alt.200m[近畿, 1979, 富永他,1973], 北区八多町屏風(1♀, 22.V. 1993), 加西市河内町普光寺 alt.180m[近畿,1979], 多可郡三谷(1♀, 6.XI.1976), 神崎郡笠形山(1♂, 6.XI. 1976), 神崎郡上大山荒田神社裏 alt.270m, 神崎町大山 alt.260~320m, 生野峠(東方) alt.380m, 大河内町城山(最明寺裏) alt.260~320m, 長谷 alt.680m, 280~340m,[近畿,1979], 姫路市千本[中臣, 1970], 相生市三濃山(1♂, 7.V.1972, etc.), 揖保郡新宮町下野[富永, 春次, 1973], 赤穂郡上郡町金出地[大貝, 1998], 佐用郡三日月町広山 alt.160~180m, 広山(南方) alt.200~260m, 広山~下筋原 alt.260~200m, 三日月 alt.140~160m, 湯浅口~高蔵寺~徳平 alt.140~220m, 三日月町西ノ脇 alt.120~140 m, 新宮町猪ノ谷 alt.160m, 南光町船越瑠璃寺 alt.320m[近畿,1979], 南光町船越山[石田, 1973], 佐用郡佐用町青木~水根[富永, 1998], 宍粟郡山崎町岩田神社~NHK塔[近畿,1979], 山崎町上葛根[宮沢, 春沢, 1973], 音水(1♂, 11.VI.1972), 多紀郡城東町上篋坊 alt.420m[近畿,1979], 水上郡[山本, 1958], 青垣町大名草常龍寺裏 alt.240~260m, 森 alt.180m, 杉谷 alt.260~280m[近畿,1979], 朝来郡朝来町新井(北) alt.180m, 生野町生野(西方) alt.340~380 m[近畿,1979], 和田山町竹田(1♀, 1.IV.1978), 出石郡[高橋, 1982], 城崎郡城崎町極楽寺 alt.40m, 桑々崎, 香住町三川権現ダムサイト alt.250m[近畿, 1979], 養父郡八鹿町上小田(南西) alt.40m, 世賀居(西) alt.40m[近畿,1979], 美方郡浜坂町居組 alt.40~60m, 浜坂下夕山林道 alt.80~120m[近畿,1979], 浜坂[高橋, 1982], 浜坂町宇都野神社, 春来峠上の池横, 春来峠 alt.420~430m[近畿,1979], 美方町鍛冶屋, 熱田~氷ノ山峠下 alt.950m, 貫田[近畿,1979], 浜坂町居組, 城山, 本谷, 温泉町竹田, 湯谷, 春来, 蒲生峠, 越坂, 伊角, 村岡町神坂, 祖岡, 板佐野, 村

岡, 鉢北, 本谷奥, 和田, 大ぬか, 美方町久須部, 関宮町大久保, 丹戸[永幡, 1994].

6. *Carabus japonicus awaziensis* Imura, Dezima et Mizusawa, 1993 アワジヒメオサムシ

1993年, 井村有希, 出嶋利明, 水沢清行によってヒメオサムシの亜種アワジヒメオサムシとして記載されたものである(Gekkan Mushi, No.264, p.14, 16, figs.21, 22, 23, 1993).

タイプ標本は, Holotype: ♂, Mt.Sen-Zan, Is., Awaji-shima, Sumoto-shi, Hyogo Pref. 1- II -1984, I.Tanaka leg. Paratypes: 9♂♂, 9♀♀, same data as for the holotype; 2♂♂, as for the holotype, 16- II -1983, I.Tanaka leg.; 6♂♂, 3♀♀, same locality as for the holotype, 5- I -1990, T.Dezima leg.

古くから先山に産するヒメオサムシとして知られていたもので, 筆者も先山で採集している. ただ今の所先山のみが知られている産地で, 淡路島の他の地域には全くいないのかどうかよくわからない.

産地. 洲本市先山[桂, 1971, 久松, 1973, 堀田, 1976, 大草, 1993, 富永, 1998], 先山(1♂, 16.VIII.1950, Hotta leg. 1♂, 3♀, 9.III.1978, etc.), 先山南側斜面 alt.430m, 420~440m, 440m, 200m, 350~270m, 200~270m, 300~400m, 400m(千光寺側)[近畿, 1979], 中河原市原淡路岳横尾トンネル南 alt.200m[近畿, 1979], 先山[Imura, Dezima, Mizusawa, 1993], 先山千光寺, 下内膳, 上内膳分岐[富永, 1998].

7. *Carabus japonicus chugokuensis* (Nakane, 1961)

アキオサムシ

中根猛彦博士によってヒメオサムシの亜種として1961年記載されたものである(Frag. Coleop.Pars. 1, p.1, 1961). タイプ標本は

Holotype: ♂, Mt.Takashiro, Shimane Pref., Honshu, 3.IV.1956, K.Mashida leg.

Allotype: ♀, Tojo, Hiba, Hiroshima Pref. Honshu 31. VIII.1941, H.Kimura leg.

Paratypes: 8♂♂, 4♀♀, from Shimane, Hiroshima, Okayama and Hyogo Prefecture.

となっていて Paratypes の産地は一切表示されていない. 1962年の中根猛彦博士の「日本昆虫分類図説第2集, 第3部 鞘翅目 オサムシ科」(北隆館・東京)の中で, Sasayama-Hyogo と兵庫県産のものは多紀郡篠山産のものであることがわかった.

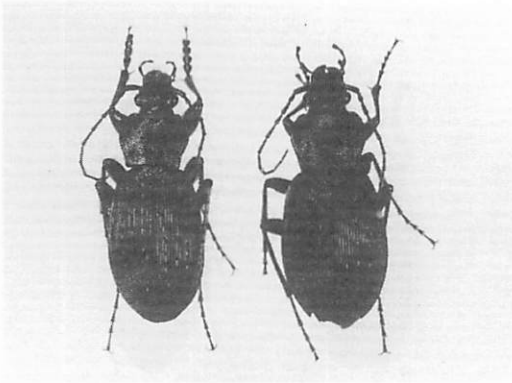


図11. *Carabus japonicus chugokuensis* (Nakane,1961)  
アキオサムシ

左♂, 20. II. 1976 右♀, 11. III. 1977

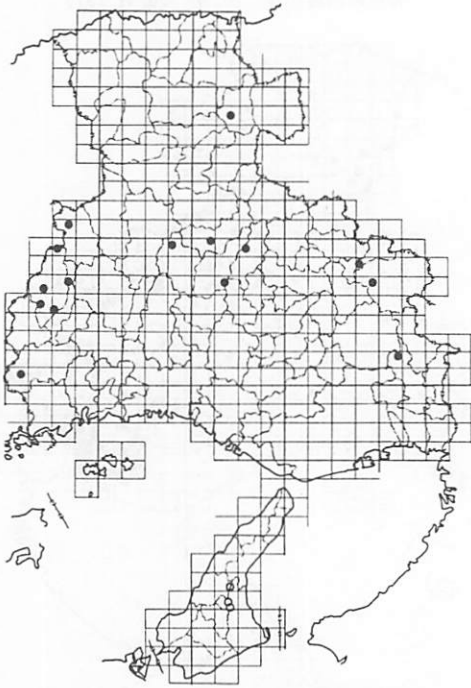


図12. ○ アワジヒメオサムシの分布  
● アキオサムシの分布

兵庫県下での分布は、佐用郡の大撫山のようにたいへん多く産するところは別として、わりと限定されているようであるが、分布としては広く分布しているようである。

産地. 宝塚市西谷大原野[大平,1992]. 神崎郡大河内

町砥ノ峯(1♂,3.IX.1977), 笠形山[富永,1998]. 多可郡加美町千ヶ峰[富永,1998]. 佐用郡佐用町大願寺東方の谷 alt.160~220m, 中三河(西方) alt.250~400m[近畿,1979], 大撫山[近畿,1979, 富永, 春沢, 1973, 嵯峨,1986], 大撫山(8♂,7♀,13.III.1976,etc.), 佐用郡日名倉山奥海岨下, 延吉~豊福・新田[富永, 1998]. 赤穂郡上郡町高山, 宍粟郡千種町西河内[大貝,1998]. 多紀郡多紀町藤阪(神社裏山) alt.300m [近畿,1979], 篠山[岸谷,1961, Nakane,1967, 小宮, 1970, 中臣,1970, 岸田,辻,1975], 西紀町(2♂,1♀,18. IV.1936,K.Kobayashi leg.). 出石郡出石町[高橋, 1963,1982]. 朝来郡生野[小宮,1970]. 養父郡氷の山 [日浦他,1971, 高橋,1982], 関宮町氷ノ山ゴロゴロ坂[近畿,1979]. 美方郡扇の山[永幡,1996].

#### 8. *Carabus maiyasanus maiyasanus* Bates,1873

マヤサンオサムシ

種名のごとく神戸の摩耶山産で記載された種である。原記載には "Found only at Moon temple (Maiyasan), Kobe ; at 2,000 feet" とある (Trans.ent. Soc. London, 1873-Part. II : 232) (Moon-temple は 初利(とうり)天上寺のことで、当時の位置と現在の位置は違っている)。

淡路島にはまだ産地は知られていないが、兵庫県下には広く分布しているようだ。特に六甲山系には多い。ただし、この基亜種は本州中部から兵庫までで、鳥取県には分布していないといわれている。基亜種の系列には、北陸と養老山地の2亜種が含まれ、分布城南限の鈴鹿山脈南東麓、信楽山地、三重県宮川上流、三重県鶴方付近などによりもう一つの系列が形成されると。

産地. 川辺郡大野山~柏原 alt.450m, 猪名川町大野山 alt.750m, 上阿古谷・三草山~神山 alt.400~330m, 柏原 alt.390~400m[近畿,1979], 上阿古谷, 里野[仲田,1970,1978]. 川西市妙見山駐車場 alt.640m, 上之町上杉池(南)~妙見山alt.370~520m, 笹部[近畿,1979], 笹部[仲田,1978,1982]. 宝塚市讓葉山~岩倉山 alt.480~500m[近畿,1979], 岩倉山(1♂4♀, 9.III.1979), 大原野自然ノ家構内(1♂,21.V.1978, T. Okutani leg.), 塩尾寺, 香合新田[大平,1992]. 西宮市北部山地有馬地区, 六甲山地東南部[日浦,瀬戸,宮武,1972], 熊笹峠入り口~熊笹峠 alt.580~600m, 棚越~大谷乗越 alt.550~660m, 観音堂~旭滝 alt.350~450m[近畿,1979], 船坂(1♂,29.V.1987.etc.), 盤滝(7♀,12.VI.1987.etc.). 芦屋市奥池 alt.550m,

トビワリ～東お多福山バス停 alt.480m, 六甲山東お多福山雨ヶ峠～本庄橋 alt.600m[近畿,1979]. 神戸市六甲山[中根,1952, 中根,伊賀,1955, 神吉, 1958, 日浦,1971], 六甲山(1ex.,27.VII.1939), 六甲山系油コブシ高羽道[富永,1998], 六甲寒天山頂[吉阪, 1961, 日浦,1971], 六甲山麓(1♀,22.VIII.1931, K.Kobayashi leg.), 一王山(7exs.,15. I .1939), 保久良山 (1♀,12.V.1978), 御影[関,1934, 吉阪,1961, 日浦, 1971], 本山町森[八田,1971], 東灘区雨ヶ峠～本庄橋 alt.610～550m, 灘区箕面町4丁目～摩耶ケーブル摩耶駅 alt.300～400m, 摩耶山[近畿,1979], 摩耶山[Bates,1873, Heyden,1879, 柴内, 中畔,1950, Nakane,1953, 小宮,1970, 井村,水沢,1996](3exs.,20. VI.1939.etc.), 森林植物園(2♀,14.VI.1986), 烏原 (2♂,16.VIII.1987.etc.), 烏原～鶴越[富永,1998], 葦合区稲妻阪～世継山 alt.400m, 再度谷[近畿,1979], 再度山[吉阪,1961, 日浦,1971](19♂,5♀,10.VI.1959. etc.), 山の街[近畿,1979, 日浦,桂,1971](7♂6♀,23. III.1975.etc.)[富永,1998], 藍那(1♀,11.X.1978), 箕谷(1♂1♀,4.XII.1991), 丹生山～坂本 alt.450～510 m, 鈴蘭台[近畿,1979], 丹生山, 丹生山[永幡,1991], 北鈴蘭台(5♂4♀,20.XI.1981), 大山公園(4♂6♀,4. XII.1991.etc.), 下唐櫃おしゃもじ観音 alt.320～340 m, 有馬口カタ越峠 alt.320m, 下唐櫃, 投町山(西山腹)～行原 alt.250m[近畿,1979], 八多町屏風 (1♂1♀,12.V.1993.etc.), 岩谷峠(2♂,20.XI.1981), 芦谷溪谷(1♀,11.VI.1982.etc.), ヨモシロ谷入り口～猪鼻橋 alt.560～530m, 鍋蓋山頂～天王谷 alt.400～250m, 妙賀山(北西の谷) alt.400～350m, 妙賀山北斜面 alt.410～430m, 稚子墓山(南西斜面) alt.300～350m[近畿,1979]. 三田市永沢寺～奥ノ院 alt. 530～570m, 尼寺～花山院 alt.250～300m, 川原北東～布木, alt.200m[近畿,1979]. 多可郡加美町清水口雲門禪寺～沓ヶ岳南方の峠 alt.450m, 清水～鳥羽[近畿,1979], 大山新[日浦,桂,1971], 加美町三谷(1♂,24.V.1975), 加美町千ヶ峰[富永,1998]. 神崎郡大河内町川上～砥ノ峯, 大河内町上大山(東方) alt.280m, 生野峠 alt.380m, 大河内町城山(最明寺裏) alt.260～320m[近畿,1979], 神崎郡大河内町長谷 alt.600m,280～340m[近畿,1979], 笠形山(1♂,6. XI.1976)[富永,1998]. 加西市河内町普光寺[嵯峨, 1986]. 姫路市書写山円教寺裏 alt.360m[遊磨,1979], 千本[中臣,1970]. 相生市三濃山(2♂,6.V.1973.etc.), 矢野小河, 矢野釜出, 矢野瓜生[大貝,1998]. 龍野市菖蒲谷 alt.250～300m[近畿,1979]. 赤穂郡上郡町

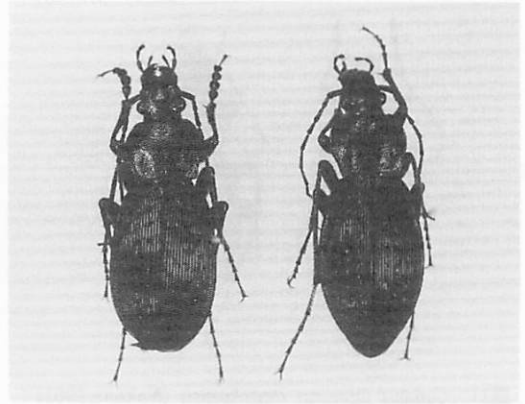


図13. *Carabus maiyasanus maiyasanus* Bates,1873  
マヤサンオサムシ  
神戸市再度山産 ♂, ♀ 20. VI. 1979

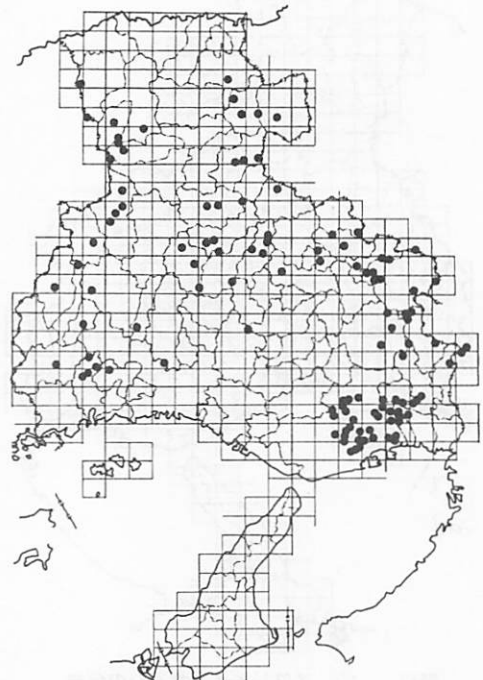


図14. マヤサンオサムシの分布

惣尻 alt.60～80m[近畿,1979]. 佐用郡三日月町広山～下筋原[近畿,1979], 船越山[石田,1974], 佐用町延吉～豊福・新田[富永,1998]. 宍粟郡安富町(旧安師村)塩野[近畿,1979, 日浦,桂,1971], 山崎町岩田神社～NHK塔 alt.180～260m, 葛根 alt.250～



280m[近畿,1979], 山崎町葛根[富永,春沢,1973], 千種町千草~岩野辺 alt.380m[近畿,1979], 波賀町原[日浦,桂,1971, 遊磨,1979], 波賀町音水(1♀,25.VI.1972), 波賀町戸倉, 大森神社[近畿,1979], 波賀町引原(1♀,22.IV.1975, M.Yuma leg.). 多紀郡篠山町東浜谷, 春日神社 alt.260m[近畿,1979], 東浜谷池東岸 alt.260m, 郡家 alt.240m[日浦,1971, 近畿,1979], 小金ヶ嶽,三嶽ノ間の峠 alt.520m, 西浜谷~東浜谷(盃ヶ岳山麓), 春日神社 alt.270m[近畿,1979], 篠山町[岸谷,1961, 岸田,辻,1975](2♂4♀,17.IV.1976), 大市[水沼,1969], 三嶽[中臣,1970], 城東町四十九 alt.420m, 弥十郎岳南東の峠下方 alt.600m, 飛曾山東方 alt.250m[近畿,1979], 多紀町天引峠(西方) alt.320m[近畿,1979], 雨石山[林ほか,1995], 西紀町(1♂,15.I.1977,etc.K.Kobayashi leg.). 氷上郡[山本,1958], 春日町(東) alt.260m. 市島町多利(東方) alt.120m, 春日町黒井城山(西斜面) alt.230m[近畿,1979], 柏原町柏原入船八幡神社 alt.50m, 青垣町大名草~倉倉 alt.240m, 杉谷 alt.260~280m[近畿,1979], 山南町若林(1♂,26.III.1975, K.Kuramoto

leg.,3♂5♀,23.I.1977, K.Fujiwara leg.), 石生(1♂, XI.1981, Y. Hachitani leg.). 出石郡出石町水石(東床尾山北麓) alt.100~140m[近畿,1979], 但東町河本, 出石町三木, 鍛冶屋[高橋,1982]. 豊岡市九日市[高橋,1975], 高尾山金山稻荷神社 alt.80m[近畿,1979]. 朝来郡朝来町青倉山青倉神社 alt.800m, 生野町生野(西方) alt.340~380m, 口銀谷姫宮神社(西方) alt.320m, 和田山町奥水坂~白井 alt.230m, 東町小谷 alt.160m, 朝来町新井(北方) alt.180m[近畿,1979], 朝来町佐寝・さのう高原, 和田山町東谷(和田山西側), 柳原(和田山北東側)[富永,1998]. 養父郡関宮町丹戸[中山,1968, 日浦,1971], 関宮町鉢伏高原[富永,1998]. 氷の山[大槻,1957, 日浦,桂,1971], 氷の山(1ex.,19.VII.1943, M.Ohkura leg., 1ex,12.VII.1954, M.Yoshizaka leg.), [高橋,1964,1982]. 美方郡美方町鍛冶屋 alt.450m[近畿,1979, 辻,岸田,1971], 温泉町蒲生峠~越坂上の神社[近畿,1979], 鉢伏山頂[日浦,桂,1971], 村岡町福岡八幡神社[富永,1998], 扇ノ山[辻,岸田,1972, 高橋,1982]. (TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

## キベリハムシを日本で一番初めに採集したのは ジョージ・ルイスではないのか? 高橋 寿郎

筆者は本誌上に"キベリハムシが初めて日本で記録されたころの想い出"なる報文を発表して頂いた(きべりはむしVol.25, No.2: 44-47, 1997). その中でキベリハムシが初めて図説されたのが加藤正世博士の分類日本原色図鑑第9輯, pl.23, f.6にカラーで図説されたものであると紹介し, 当然その頃より本種の神戸での記録は見る事が出来るようになった。だがそれ以前何時頃神戸でこのキベリハムシがいたのかと云ったことは全く謎のままであり, 漠然と明治の終わり頃ではないかと考えていたのであるが, 最近, 偶然黒沢良彦博士が, よく知られている素木(しらき)標本についての詳しい解説文を書いておられるのをゆっくり読む機会を持った(甲虫ニュース No.50: 7-13, No.51: 5-6, 1980). 即ち, 素木標本として知られている標本は, 大正5年(1916)当時の台湾総督府農事試験場技師であった素木得一博士が, 3年間のロンドン留学

を終えて帰国されたが, 帰国に際し膨大な量の日本内地や東南アジア産の甲虫標本を持ち帰られた。

日本内地産の標本は有名なジョージ・ルイス(George Lewis)の採集品で, 彼自身や他の甲虫学者によって記載された多くの種類のタイプ標本を含んでいた(この標本がどのような経緯で入手されたのかは全く不明であると)。これらの標本の産地を示すラベルは素木得一博士が帰台後台北においてすべて外され, その代わりに台湾内の特定の数カ所の地名を示すラベルが付けられたとのことで, このような大がかりな意識的なラベルの付け替えが, いかなる目的のもとにされたのか, これまた全く謎である。

さらに, 黒沢良彦博士の解説は続く。"降って大正11年(1922), 当時台湾に在って浪人中の若き日の加藤正世博士は, 素木得一博士の尽力により, 台湾総督府嘉義農事試験場に奉職した。同博士は